## ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION 全酪連

第44回

## 全国酪農青年女性酪農発表大会 ②

嫁・婿が語る酪農の魅力/高橋千賀子さん

組合が取り組む後継者支援事業(大阪支所管内)

日本酪農危機突破・総決起大会の開催について(酪政連だより)







酪農トピックス/東日本大震災から4年4カ月、経営再開! みやぎの酪農協 阿部俊幸さん — (仙台) ほか 日本酪農見て歩紀 (茨城県常総市 渡辺和好牧場)



# 竹田千鶴子さん(北海道会議)が番





先月号に続き、今月号では7月15日欧~16日休東京都台 東区「浅草ビューホテル」にて開催された第44回全国酪農青 年女性酪農発表大会 酪農意見・体験発表の部の審査講評を 中心にご紹介します。

だきます。

の中で、 です。酪農家のお嫁さんになりた うひとつは、「婚活」ということ 代目ということで、本大会の歴史 ました。ひとつは、 の長さを感じさせられました。も お2人までが、酪農発表大会の二 素晴らしい発表が揃いました。そ いとアピールされる酪農場従業員 今回の意見・体験発表の部も、 いくつかの特徴が見られ 発表者のうち



見・体験発表の部

小林 信 審査委員長

笑顔・挨拶・感謝

関東甲信越酪農青年女性会議 小見 幸江さん

の方、 を祈念しています。 ました。「婚活」も含め、 さらに結婚相談員の活動をされて いただき、審査講評とさせていた に残った点を中心にお話しさせて が新たな出会いの場となったこと いた酪農家とお膳立てが揃ってい 発表された順に、それぞれ印象 お嫁さん募集中の酪農家 本大会

2015 · 9 ZENRAKUREN MEMBER'S INFORMATION 2

した。 き合う時の基本である「褒め殺 を続け、元気に回復させたことも かってほしいと必死でマッサージ 死んでいく子牛を前に、 歴や分娩状況などを記録するノー 族の絆の強さを感じさせる発表で ています。 し」を体得したということです。 あり、この体験によって、牛に向 トを作りあげます。下痢で次々に 出ないことも知らず驚きの連続の 「仕上がって」嫁いだ小見さん。 子供たちは「守っこ」牛の子守 交際期間に搾乳ができるまで 牛舎の中でたくましく育っ 1頭1頭に名前を付け、 子牛を生まなければ乳は 酪農への熱い思いと家 何とか助 病

やっぱり牛が好き 中部酪農青年女性会議 藤田 千恵子さん

として10年間働いている藤田さん 牛が大好きで法人経営の従業員

> 撃的でした。 と熱烈にアピールされたことも衝 う藤田さんの姿に感銘を受けた方 キサーなどの重機類の操作までこ さやり、除糞やリフト、 査員一同祈念しています。 フを見つけていただきたいと、 な目標は、「 も多かったと思います。 目標を持って仕事をしてきたとい なします。きつい、 搾乳作業の他に、 仕事が楽しいと思え、 酪農家に嫁ぎたい 今大会でベターハー 長い酪農労働 T 今の大き  $_{\mathrm{M}}^{\mathrm{T}}$  $\bar{\mathbf{M}}$ R 常に のえ R



東北酪農青年婦人会議 桜井 善さん

して酪農の道に進むことに。

の時の共進会を契機に、 で閉ざされた片岡さんは、

ピー り、 活動に関わる中、 桜井さんが、専業として就農した 除角や収穫作業などを行った は26歳の時。 自 東北酪青婦委員として様々な ルすることの重要性に気付 由気ままな生活を送って 先輩酪農家と一緒 消費者に直接ア 41 た

> され、 成功することを期待しています。 年に3戸共同法人として達成した す。 活動にも積極的に参加していま 画」とともに、 父親世代から、 会で目標とした法人化を、 企てている 元の名産品としてアピールする 平成13年に母親が東北発表大 「いわて山麓漢方和牛」 次の飛躍を図るた - 牧場乗っ取り計 「嫁とり計画」 平成 19



ラガーマンとしての将来を怪我

大学生

テップとして地の利を生かして、 継者も育った竹田さんは、 債を返済しながらも、 に全力で取り組んでおられます。 伝える「酪農教育ファーム」活動 酪農の魅力や食と命のかかわりを して多くの実習生を育て、 を持てたのは40歳の時。 末にようやく念願の自分の牧場 酪農家の次男と結婚され、 「母親」と 多額の負 次のス また後

> きとともに、すがすがしさをも感 となく、酪農体験と民宿をマッチ 74歳の今でも、現状に満足するこ じさせる発表でした。 を提案するなど、若々しい姿は驚 ングさせた「ツリーハウス特区



地域とともに ・酪農に駆ける夢を

西日本酪農青年女性会議 片岡 寛之さん

再び経営の部でも発表されたらよ さえた経営を展開されています。 た片岡さんは、受け継ぐべきこと に出場するほどの牧場をまかされ て「あっさり」定年退職した父親 家の伝統である60歳定年制によっ 感想でした。牛群改良による共 変えるべきことをしっかり押 酪農発表全国大会経営の部 後継者と 3 ZENRAKUREN MEMBER'S INFORMATION ■ 2015 · 9

いのでは、というのは審査員一

役割を期待しています。 長とマルチに活躍する片岡さんに の立ち上げ、 農教育ファー 給飼料生産の強化、規模拡大、 進会での活躍、 盛り立てていくリーダーとしての 厳しい環境にある四国酪農を غ ب 徳島県酪農協副組合 地域連携による自 阿波市ブランド 酪

馬とあか牛、

さらにはホルの子牛

熊本で検定員として働きながら、

分の未熟さを痛感します。その後、

九州酪農青年女性会議 富安 麻紀子さん

博多に逃げ帰ってしまいます。 ら手伝っていた牧場の実習生に。 に編入した非農家出身の富安さん リカ実習、 れでもまた牛が忘れられず、 酪農学園大学卒業後も学生時代か 馬に乗りたくて熊本の農業高校 そこで運命的に牛と出会い、 実際の酪農作業の厳しさに、 熊本で高校の農場の先 新規就農の夢を抱いて アメ そ

ば

ピー活動は、 民宿、 引き出す可能性を秘めた活動と言 験を原点とした馬や牛によるセラ 維持活動や酪農体験、 を叶えた富安さんは、 家に嫁ぐことに。酪農家になる夢 がきっかけでご主人と出会い、 まで飼い始めますが、このホル子牛 えるでしょう。挫折を繰り返しな も積極的にかかわり、 大きく成長していく姿は、 人に勇気を与える発表でした。 特に、 それを乗り越えて、 レストランと夢は広がりま 小学校時代のいじめ体 新しい酪農の魅力を 阿蘇草原の さらに農家 食育活動に 大きく、 多くの 酪農

農の魅力を十分に伝えてくれる発 農は人を輝かせるものという、 表でした。 の愛を感じさせるものでした。 なさんの発表のどれもが、 かりで審査員泣かせでした。 今回も、 非常に粒ぞろいの発表 酪農

関わり」、 以上の発表について、 「周囲とのつながり」、 「酪農と

再び北海道の酪農場で働くことに。

ここでもまた厚い壁に阻まれ、

自

能性を秘めた活動を行っている九 で、 を満たしているものでしたが、 た。 間などを含めて審査いたしまし らし、さらに実際の発表や発表時 現性」という4つの審査基準に昭 た酪農の新たな魅力を引き出す に 活動の広がり」、「目標と夢の 「目標と夢の実現性」という点 どの発表もこれらの審査基準 就農希望者に勇気を与え、

さんに審査員長特別賞を差し上げ 夢を実現しようとする若さをみた 魅力を発信し続け、さらに新たな ました。また、酪農教育ファー 州酪農青年女性会議の富安麻紀子 たいと思います。 道酪農青年女性会議の竹田千鶴子 さんに分け与えてくださった北海 活動の草分けとして、 さんを最優秀賞とさせていただき 長年酪農

て開催予定となっております。 愛を知る『愛知県』で 来年も、皆さまにお会いできる ことを楽しみにしております。 五五虚以意北京川 小笠原和美監事による 閉会のあいさつ 名古屋東急ホテル▶

来年は、愛知県名古屋市「名古屋東急ホテル」に

## を贈 活動 報

員長より報告がありました。 て引頭玉枝・小薗千弘両副委 これまでの活動報告等につい ます。懇親会の場において、

以下、 抜粋)

誰もが分かりやすい語呂合わ 的として、「父と牛乳」という 低迷する牛乳消費拡大を目

> 平成18年より当会議で取り組 乳のプラスイメージの定着化 け、 贈ること」を全国的に呼びか 消費を喚起することを目的に、 を図ることで、継続的な牛乳 性も積極的にアピールし、 せを利用し、「父の日に牛乳を イラ解消の役割」などの機能 んでおります。 同時に牛乳のもつ「イラ

り、

毎年皆さまにご協力いた

当会議の活動の一

環であ

贈ろう!」の牛乳普及キャン

ーンは今年で10周年を迎え

だいている「父の日に牛乳を

案によって始まり、 中心部街頭でのPR活動、 9年に熊本県酪農女性部の発 このキャンペーンは、 熊本市内 平成 熊

> ていきました。 後、全国にこの活動が普及し 首相への牛乳贈呈を行い、 成7年には当時の小泉純 目を浴びました。そしてその 本県知事・市長への牛乳贈呈 様々な活動が行われ、 郎 注 平

費者に伝え、牛乳・乳製品の 国の補助を受け、平成25年度 消費拡大・定着を図るため、 性・安全性をより一層一般消 得た経験を踏まえ、 農業会の現状と、牛乳の機能 このキャンペーン活動で 厳しい酪

> 組んでおります。 より「理解醸成活動」 に取り

ご支援、 す。 願い申し上げます。 機に決意を新たにし、より 議は、 予定しております。 はじめ全国各地で活動展開を 醸成活動に取り組んでいきま 層強力に消費拡大、酪農理解 私たち全国酪農青年女性会 今年も、 10周年という節目を契 ご協力をよろしくお 秋頃に東京都を 皆様方の



▶熊本でのポスター



▶当時の首相、小泉純一郎氏に ▶道の駅にて活動展開



▶「お父さんの似顔絵を書きま した」(保育園)





▶理解醸成イベント

## 六次産業化で 広がる世界

9月の嫁

高橋牧場(花咲ふくい農業協同組合)

高橋千賀子さん

「嫁・婿が語る酪農の魅力」第27弾として、 高橋牧場(花咲ふくい農業協同組合)の 高橋千賀子さんにお話を伺いました。

明30歳)、 売しています。 私 (千賀子55歳)、 長男の妻

供たちは会社勤めで長男は昨年結

私の家族も酪農のことを良く知ら

寺町に接しています。 福井県の北部に位置し、西は東尋 泉のあわら市、 博物館のある勝山市、 坊のある日本海に面し、 南は永平寺の永平 北は芦原温 東は恐竜

和52年、 年に経営を始めました。主人は2 代目で、 haの稲作との複合経営です。また、 はせて手造りソフトクリームを販 私たちの牧場は、義父が昭和30 (預託中)を飼養しており、5 現在、経産牛20頭、育成牛6 北海道での実習を経て昭 21歳のときに就農しまし

長女(美那子28歳)の5人で、子 我が家の家族は、主人(誠行59 (朋実26歳)、 長男(久 せんでした。

私たちの牧場がある坂井市は、 高橋牧場の概要と家族を教え に担当し、

てください

農の魅力団

が語る

## を教えてください こ主人と結婚するまでの経緯

との出会いは内緒ですが、私が33 家であることは知っていましたが 飼養されていることにも気づきま は全然知らないし、乳牛が町内で しまいました。勿論、酪農のこと 言葉に乗せられ、半年で結婚して で78歳の今でも潜っています。主人 私の実家は主人と同じ町内にあ 主人が28歳のときに、巧みな サラリーマン家庭で、母は海女 交際中に主人が酪農

婚しました。労力は私たち夫婦で、 利用しています。 ます。酪農ヘルパーも月に3回は ときには手伝ってくれて助かってい 搾乳を主人、飼料給与を私が中心 して行っていますが、長男が休みの 稲作の方は2人で協力



高橋牧場全景

## は反対されました。でも、自分の ないこともあり、 主人との結婚に

意思に従い嫁ぐことにしました。

## 結婚後のお話をお聞かせください

担を始めましたが、外で実習する い出します。飼料給与から作業分 から眺めていたことを懐かしく思 ましたが、最初は牛が怖くて遠く 長男の育児途中から牛舎に入り

も信じられないくらいです。るようになり、振り返ると自分でトのおかげで何時しか何でもできこともなく、主人や家族のサポー

笑できたのは支えになりました。 等できたのは支えになりました。 等できたのも事実ですが、例えば、 苦労したのも事実ですが、例えば、 でしたのも事実ですが、例えば、 でしたのも事実ですが、例えば、 でしたのも事実ですが、例えば、 でしたのも事実ですが、例えば、 でしたのも事実ですが、例えば、 でしたのも事実ですが、例えば、 でもが悪くても、主人が居ないとき

取材や周りの人の話から、 社交的で人望も厚く、諸役 に社交的で人望も厚く、諸役 員の経験もあり、行き交う情 員の経験もあり、行き交う情 は世かで、その人徳が経営

# ださい 一六次産業化についてお話しく

に」が平成10年に開業、との話題普及していない頃、「道の駅みくまだ六次産業化という言葉も

に際して、「ソフトクリームをやらない?」との話が舞い込みました。ない?」との話が舞い込みました。をおうということになりました。色々と勉強を重ね視察を行い、道の駅の一角に3坪のソフトクリーム店を出店することが出来ましたが、トッての販売業で苦労しましたが、トッセングを色々と工夫し品数を増やピングを色々と工夫し品数を増やは、努力の成果は我が家の経営にはとても役立っています。

マーケット「きららの丘」の店を地元JAが運営するファーマーズト従業員で運営しています。現在、「オファーム高橋で登記し、パー



ソフトクリーム店(きららの丘店)

話しください――酪農の魅力、今後についてお

家族一緒に働き、生活できること、命に対する感動を得られること等、のと上手くやって新たな時間が生めを上手くやって新たな時間が生めな出せることです。会社勤めではなかなか難しいことではないでもること、

子供たちも独立し、一層、時間

冬場は閉店しています。 加えて2店舗を営業していますが

や視野も広がりました。全く知ら

舞い込んだ六次産業化で人間関係を作り易くなったと思いますし、

なかった酪農家に嫁いで大変なこ

本当に良かっ

売しているとのことです。 地対きの千賀子さんは、地元の伝 造り開発し自ら営業して、ショッ 造り開発し自ら営業して、ショッ だっです。これは米と豆の麹にナ そうです。これは米と豆の麹にナ そうです。これは米と豆の麹にナ でいることから伝承料理として販 に行金で、現在、作り手が減少し にいることから伝承料理として販

たと思っています。ともありましたが、

もう二人も若くないですから、

が生まれてくるかもしれません。作ったとのことで、また新たな食品自宅の隣には「米の花工房」を

ていきたいと思います。からも生き生きとした日々を送っからも生き出しが増えるので、これ

やっていきたいです。酪農を通し背伸びせず、現状規模でボチボチ

# ――ご主人に一言お願いします

体には十分気を付けてください。の時間を大切にしていきましょう。の時間を大切にしていきましょう。

## ご主人から奥さんへ一言

も宜しく。
いかけて来ているけれど、これからくやってくれている。迷惑もいっぱ

# 組合が取り組む

# おかやま酪農業協同組合 大阪支所管内

第 6

回

長)の事業を紹介します。 合(おからく:東山基代表理事組 今回は、おかやま酪農業協同 組

## 一酪農就農者の激励会

2名おられました。当日は9名の らく教育振興会(東山基代表理事 励 出 す。激励の対象者は平成24年4月 より、記念品が贈呈されました。 の内経営移譲による新規就農者が 以降に就農された方々11名で、そ 0 山市の「ピュアリティまきび」にお になりますが、本年の1月28日岡 いて開催されました「酪農就農者 の挨拶の後、一般財団法人おか .席者でしたが、東山組合長の激 激励会」の様子を紹介いたしま まず初めに、かなり以前のこと

酪農就農者の激励会出席者



おかやま酪農業協同組合 ■正組合員数 469名

がりました。 営の将来像について発表されまし 方で会食が行われ、大いに盛り上 た。その後、テーブルごとに就農者 おられ、頼もしく感じる場面でし た。それぞれ堅実な目標を立てて 方とおかやま酪農協の役職員の

ころです。 り、今後のご活躍をお祈りすると 農の将来を明るくするものであ 夢を持って就農されたことは、酪 を増しておりますが、若い方々が 酪農を取り巻く環境は、厳しさ

供いたします。 を今秋に設立予定です。この二つ G 南部の笠岡市干拓地区にて「KN 地域において35歳未満の若手酪農 からく」があります。また、岡山県 後継者を支援する組織として「わ 後継者育成組織について情報提 おからくでは現在、岡山県北部 干拓ニュージェネレーション」

人ひとり自己紹介を兼ねて、経

出席された酪農就農者の方は、

## ■わからく

けが少なく、皆との連携・協調がと 得ていましたが、多くの若い後継 事し、酪農情勢に接する機会も少 3月末108名) 「おからく女性 れていない状況がありました。 者は、組織活動への参加のきっか 加し幅広い年代との交流の機会を い後継者は、同志会や青年部に参 ない現状がありました。一部の若 交流の機会が少ない中で酪農に従 農もある訳で、若い彼ら彼女らは 前述したとおり、若い後継者の就 となってきていました。それでも ますが、年々高齢化が進み後継者 部(27年3月末257名)」があ 織として、「おからく青年部(27年 不足(酪農家の減少)が深刻な問題 おかやま酪農協には組合員の組

適正化を期するため、現在はおか 5年以内の酪農家をもって構成す を目的として、平成23年8月に「わ 未来の経営者の育成を図ること\_ いて支援しています。 やま酪農協津山支所に事務局を置 は、「わからく」の事務処理の円滑 の参加がありました。おからくで 支所管内で次代を担う後継者29名 るという規約がありますが、津山 らく」には、35歳未満、または就農 からく」が結成されました。「わか

す。事務局としては、 が、事業費は年会費5,000円と 年1回計画し活動をしています て研修会を年6回、宿泊研修会を 寄付金で賄っているとのことで 「わからく」は、年度の事業とし 「研修会に



ファミレスでの「わからく」役員会の様子

帯感を深めてもらうことも大事\_ 指しています。 継者が交流し集う組織づくりを目 所・事業所管内にも「わからく」を また、今後の課題として、他の事務 と結成した目的を説いています。 加して技量を高めてもらうことも 結成し、県下の次代を担う若い後 大事ですが、お互いが交流して連

## K N G

# (干拓ニュージェネレーション)

カー2社・行政2団体 肥育農家1戸(暫定2戸)・乳業メー 農後継者9戸(岡山県備南笠岡地区)・ キャッチフレーズ 「酪農を地域の感動産業に!」 構成員:笠岡湾干拓(かんたく)内酪

ちです。KNG(干拓ニュージェネ く「みんなとともに!!」をコンセプ 競争社会に於いては、、先んずれば トに、笠岡湾干拓内の生産者が一 産業に!」をキャッチフレーズに、 レーション)は「酪農を地域の感動 人を制す、という考え方になりが 自分さえよければ・・・・」ではな 刻々と流れ続ける国内外経済

> げる内容を取り組むため新たに立 性向上への取組みなど、以下に掲 を目指し、地域全体としての収益 あい、友好関係の拠点の空間創生 体となって、地域・消費者との 上げを目指す協議会です。 ふれ

ころです。 係各所と鋭意調整を図っていると 岡湾干拓内の酪農後継者で組織 の連帯」、「消費者理解」は必須課題 には、「地域住民理解」、「生産者間 る協議会「KNG」の創立にむけ関 が、その内7割の生産を支える笠 下生乳生産の3割を担っています です。現在岡山県備南地区では、県 永続」共販体制を継続していく為 今後、国内における「酪農産業の

3

し「酪農を地域の感動産業に!」

地域との連携を図りながら積極的 上にむけ、次の3つの目標を掲げ 地域および生産者個々の収益性向 階的に進めるため、構成員自らが、 創造していくものとし、増頭増収 ることで、より効率的かつ堅牢に 域内での協力体制を最大限活用す るいは個別機関のみでは達成しえ ならびに地域内の収益性確保を段 ない農の生産基盤維持を、生産地 この協議会では、個々生産者あ

に取り組むこととなっています。

## 1 体制による循環型農業の確立 行政・市町村との積極的取組

活用問題への積極取組 家畜排泄物·汚水排水·草地利

## 2 安全安心な食農生産体制つくり 地域住民・消費者に理解される 地域ナンバーワン産業を目指

ジスティックス(物流の利便性 長期ビジョンの取組 とし、地域収益性向上の為の中 西日本農畜産業一大生産地帯 瀬戸内海沿岸の立地条件、ロ

を活かした強い農業体制・販売

と連帯し取り組む計画です。 ル地区として、三位一体となって地域 費者理解を軸とした、「新鮮・安心・地 件を活かした高付加価値生産、単 元生産品」のアンテナ発信的なモデ 量追究主義的なやり方ではなく、量 にモノづくりが量だけを追求する 「quantity」から質「quality」そして消 道の駅ベイファーム」の好立地 また、中期目標では笠岡湾干

## **沙酪農TOPIOSN**

## 仙台

## 東日本大震災から4年4カ月、経営再開!

― みやぎの酪農協 阿部俊幸さん ―

みやぎの酪農農業協同組合の組合員である 阿部俊幸さん(27)は、東日本大震災による 津波により自宅・牛舎・乳牛を失いました。 しかし、被災後も「酪農をしたい」という強 い思いを持ち続け、去る7月16日、完成した 新牛舎に乳牛11頭を導入し、酪農経営を再開 しました。

みやぎの酪農農業協同組合は経営再開を祝い 初妊牛1頭を贈呈し、伊藤一成代表理事組合長 は「復興に向けて一生懸命取り組んできた阿部 さんが再開を迎えたことは、大変うれしい。今 後も、地域の模範となるよう協力していきた い。」と祝福されました。贈呈式には、酪農 家、酪農組合、全酪連、農協等の関係者が集ま り祝福しました。

阿部さんからは「新牛舎に牛が入り、やっと 再開の第一歩を踏み出すことができました。み なさんからの支援に感謝しています。これから も地域の人と連携し復興に励んでいきたい。 と再スタートの決意を述べられました。

(S.K) ◀ 阿部俊幸さんと贈呈された初妊牛

伊藤組合長(右端)と阿部さんご家族

## 仙台

## 「ヤマラク運動会 開催される

- 山形県酪青年部 —

去る7月16日(水)、山形県酪農業協同組合青 年部主催の「ヤマラク運動会」が、南陽市民体 育館において開催されました。

当日はドッジボールとソフトバレーボールの 団体競技2種目と個人戦のアームレスリングが 行われ、老若男女問わず多くの組合員の方が参 加し交流を深めていました。団体競技では、組 合員 · 青年部 · 山形県酪農協役職員 · 全酪連職 員をバランス良く配置した4チームを作り、ドッ ジボールでは白熱した攻防が展開され、ソフト バレーボールではみんなで協力しながら楽し んでいる姿が印象的でした。また、個人競技の アームレスリングでは、男女共に多数の参加者 がおり、各参加者が見事な腕っぷしと気概を披 露し、会場全体を大いに盛り上げていました。

今回の運動会は、 交流を深めるだけで はなく、健康増進に



▲ 最強チャンピオンは?

も貢献するものとなっており、山形県の酪農家及 びそのご家族、関係者の皆様のパワーと優しさを 感じることができる、すばらしい催しでした。

(K.J)



▲ ソフトバレーボール

## **沙酪農TOPIOSN**



## 全酪連近畿中四国酪農団体協議会 管外酪農事情視察研修

全酪連近畿中四国酪農団体協議会(会長: 東山 基おかやま酪農協組合長) は、8月19日 (水)~21日 金福島県・栃木県において、管外視 察研修を実施しました。第一日は、福島県酪 農業協同組合(宗像実組合長)のご厚意によ り、NPO法人ミネロパイロットファーム(福 島市)と同組合酪農総合センター(本宮市)を 訪問しました。東日本大震災からの復興は、大 変厳しい状況があることを改めて感じる中で、 古い牛舎施設を利用し酪農を休業せざるを得な かった人たちを中心に、経営を軌道に乗せてお られるミネロファームには頭が下がる思いでし た。また、ミネロファームを卒業された人たち が共同で、560頭規模の全く新しい牧場を建 設されていることも大きな驚きでした。

福島県酪農協では、震災後酪農休業者がおら れる中で、生乳生産を回復させるために、大変 な努力をされていることを伺いました。また、 除染後に出てくる広大な土地を利用し、自給粗 飼料を生産すべく、コントラクター組織(酪農 休業者の職場ともなる)を立ち上げる構想であ ることも伺いました。このようなチャレンジン グな取り組みにも、感銘するところでした。

第二日は栃木県に移動し、まず全酪連那須青 木TMRセンター(那須塩原市)を視察しまし た。高低差を利用し、できるだけ電力に頼らな い(停電に強い)という特徴があり、また製品 としては、ドライのTMRでラッピングされて いても、発酵はしていないという特徴がありま した。

その後、酪農とちぎ農業協同組合(坂主正組 合長)のご厚意により、那珂川町の菊地牧場を 視察しました。目的は「搾乳ロボット」の見 学。新しい酪肉近では、ロボットの活用による 省力化が取り上げられていますが、ロボット搾 乳の現状を見せていただきました。菊地さんか ら、現状の頭数で搾乳が1人になった場合、 パーラーなら4時間、ロボットなら2.5時間と いった感覚を聞きました。確かに省力化になっ ていますが、強調されていたことは、「その余 裕ができた時間は牛の観察に充てること。| 牛 の状態や発情を見逃すと、経営がおかしくなる と言っておられました。

近畿・中国・四国の広範囲の会員が管外視察 研修に参加しましたが、参加者からは「実際に 見て、実際に聞いて、納得できる研修であっ た。」との声も聞かれました。また、会員相互 の意見交換や懇親も深められました。有意義な 視察研修になったものと思われます。

貴重な時間を割いて視察研修の場を提供して くださいました、福島県酪農協、酪農とちぎ農 協には感謝申し上げます。 (I,Y)





ミネロファームにて

## 日本酪農危機突破・総決起大会の 開催について

## 日本酪農政治連盟



▲ デモ行進の様子

平成27年7月31日金の正午より、標記日本酪 農危機突破・総決起大会が、自由民主党本部の8 階大ホールで開催されました。本連盟主催の酪農 民大会としては2年ぶりの開催でしたが、600 名を超える参加者があり、会場に入りきれないほ どとなりました。また、当日は、自由民主党酪政会 所属の国会議員の先生方に来賓として出席をお 願いしたところ、約80名の先生方にお越しいた だきました。先生方を代表して、森英介先生(自由 民主党酪政会会長)、齋藤健先生(自由民主党農林

部会長)、江藤拓先生(自由民主党TPPに おける国益を守り抜く会会長)、坂本哲志 先生(自由民主党畜酪小委員会委員長)、 伊東良孝先生(自由民主党酪政会事務局 長)、山田俊男先生(自由民主党酪政会顧 問)から激励のご挨拶をいただきました。 集会終了後は、自由民主党本部前から、赤 坂見附、溜池山王、霞が関を経て、日比谷 公園まで、現在酪農家が置かれている窮 状などを訴えながら、デモ行進を実施し

ました。デモ行進時には参加者は約1.000名と なり、同日ハワイ、マウイ島で開催されている、 TPP閣僚会合に対する国会決議遵守の支援活動 (S.T) となりました。



(自民党酪政会会長)の挨拶



▲ 佐々木委員長の挨拶

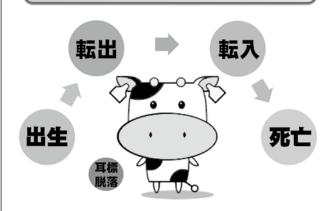


▲ 集会の様子

牛トレーサビリティ法 「4の個体識別のための情報の管理 及び伝達に関する特別措置法」

## 肉用牛農家の皆様

牛の出生や異動の届出は、速やか、 かつ、正確に行いましょう。



- ●牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の 装着及び各種届出が義務づけられています。
- ●届出をせず、又は虚偽の届出をした場合には、 牛トレサ法に基づく罰則**の対象**となります。
- ◆さらに、各種補助金の対象から除外されたり、 返還を求められる場合もあります。

農林水産省

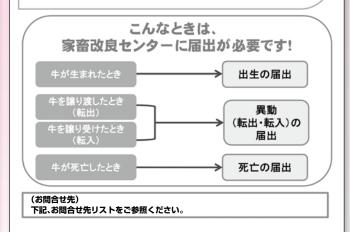
## 届出は、速やかに、 そして正確に!



## 例えば…

出生年月日や品種などを偽って届出した場合、 行政処分や罰則の対象になったり <u>補助事業に参加できなくなることがあります!</u>

- ▷ A県の酪農家は、生まれた乳用雄や交雑種子牛の生年月日を**故意** に遅らせ、事実と異なる日で届け出ていました
- 農政局が立入検査したところ、この酪農家は「子牛市場に上場する際、 発育を良く見せるため、出生の年月日を遅らせていた」ことがわかり、 行政指導(催告)を受けました。
- なお、当該子牛は、補給金や補助事業の月齢要件を満たしていな かったことから、この酪農家は、補給金及び補助金相当額の賠償を求 **められました**。



## 牛トレーサビリティ制度に関するお問合せ先リスト

農林水産省北海道農政事務所安全管理課

農林水産省東北農政局安全管理課

農林水産省関東農政局安全管理課

農林水産省北陸農政局安全管理課

農林水産省東海農政局安全管理課

農林水産省近畿農政局安全管理課

農林水産省中国四国農政局安全管理課

農林水産省九州農政局安全管理課

内閣府沖縄総合事務局消費·安全課

011-642-5463 (内線;514)

022-263-1111(内線;4533)

048-600-0600 (内線;3219)

076-263-2161(内線;3715)

052-223-4670(内線;2827)

075-414-9000 (内線;2246)

086-224-4511(内線;2359)

096-211-9137 (内線:4252)

098-866-0031 (内線;83456)

もしくは最寄りの地域センターへお問合せください。

渡辺和好牧場がある常総

市

は

東京都心から約





渡辺牧場の皆さん ▲

No.268 動給餌器と自給飼料 上と飼料効率アッ

様が担当されており、家族総出で は家族全員で行い、哺育管理は奥 子さんの良さんの3名で行っていま 搾乳と飼料給与、 育成牛管理

ろです。 年間生乳生産量は9,184 t 協同組合(佐藤隆義代表理事組合 方に筑波の峯がそびえ、 50m圏内に位置しており、 長、常総市)は組合員戸数35戸で、 で温暖な気候に恵まれているとこ 茨城県の南西部、 渡辺牧場が所属する共栄酪農業 自然豊か 遥か彼

成26年度実績)となっています。

## 牧場の紹介

ます。現在、牧場の運営はご主人 グラスやとうもろこしを育ててい います。搾乳牛舎はつなぎ型牛舎 上あり、主としてイタリアンライ 設したものです。草地は10町歩以 で、平成18年に規模拡大と共に新 未経産牛40頭の計90頭を飼養して 和好さん、奥様の友子さん、息 渡辺和好牧場は、 経産 年 50 頭

▶ 牧場全景





守谷へ入植されたそうです。 日々の仕事に励んでいます。 47年に和好さんのお父様が現在の 渡辺牧場のルーツは山形県にあ 満洲開拓の後、 戦後茨城県の 昭

機械の導入を行ってきました。後 代になってから飼養規模の拡大や 地に移転し、ご主人の和好さんの に北海道での実習を経験し、 継者である良さんは、大学卒業後 15年から就農されています。 平成

## 牧場の特色ある取組

## )規模拡大

変更(繋ぎからフリーストールへ) 継続することになりました。 さを優先し、現在のつなぎ体系を も考えられましたが、家族内で話 新築に関しては、飼養管理方法の 農して3年後に規模拡大し、 し合った結果、個体管理のしやす から50頭まで増頭しました。牛舎 に牛舎を建設、経産牛頭数を30頭 平成18年、 後継者の良さんが就 新た

## ○自動給餌器の導入

れていたことがきっかけです。現在、 の北海道での実習先で取り入れら に乾物摂取量をアップさせていま も導入しました。これは、良さん 頭・1日あたり10回の多回給餌 牛舎の新築と同時に自動給餌器 飼料効率を上げるととも

> にし、 クも毎日必 量 必ず個体観 給餌時には 察を行う様 墨のチェ 採食

す。

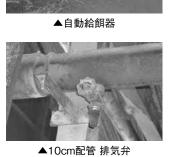
ま

振り、 ず行うようにしています。 観察へ充てる等といった他の仕事へ 減させる一方、出来た時間を牛の を図っています。 給餌に対する労力・時間を軽 全体的な飼養管理の効率化 この様

# ○常に水が十分に飲める環境

け、 の牧場が導入していたものを参考 北海道へ視察に行った際、 なっています。これは、和好さんが 配水管には空気弁を数ヶ所取り付 給されるようにしています。また、 増加する採食時にも十分な水が供 のを使用し、牛の飲水量が急激に 舎を廻る配水管は直径10mあるも ぼれにくい形状のものにした他、牛 ました。ウォーターカップは水がこ にしたそうです。 牛の飲み水についてもこだわり 水圧が大きく変わらない様に 視察先





## 料は、 等にかかるコストを低減させていま 業の効率化を図っている他、 出来ており、購入飼料代を抑える を上げています。これらの自給飼 品質ごとに給与する牛のステージ す。また、イタリアンは番手ごと・ を地域の酪農家と共同で行 ○自給飼料の効率的な活用 〔経産・育成等〕を変え、飼料効率 渡辺牧場では、 通年給与が可能な量が収穫 自給飼料の生 機械 作 産

# 後継者への思いと今後の展望

のに一役買っています。

# ○良さんが就農してから変わった意識

牛を観察することや他の仕事をす 来たそうです。その時間を使って 比べると、各段に時間に余裕が出 婦だけで作業していた時と現在を 年以上経ちますが、和好さん夫 後継者である良さんが就農して

> そうです。 えあう環境が出来たと感じている ることも増え、互いに話し合い、考 善提案を家族内で話し合ったりす 環境の整備などの様に、牧場の改 上記の規模拡大、自動給餌器、 業効率がアップしました。また、 ることも多くなり、牧場全体の作 水

## ○今後の渡辺牧場

つつ、 組みを始めたところだそうです。 の活用を通して、後継牛を確保し 現在、 経営の収益性を向上させる取 副産物販売での利益を伸ば 雌雄判別精液と和牛精

G H

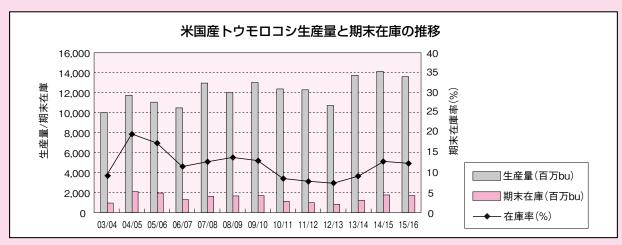
を心から祈念申し上げます。 のご健康、ご多幸と牧場のご発展 の皆様に多大なるご協力頂きまし たことを感謝申し上げます。 今回の取材に関して、 渡辺牧場 皆様

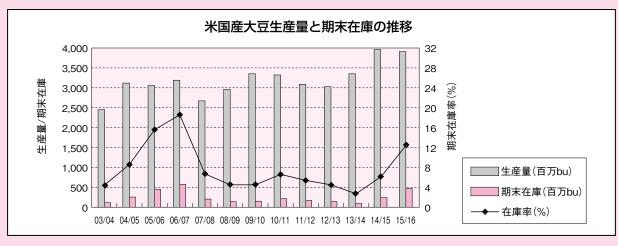


▲搾乳牛舎

## **▶原料情勢** 平成27年8月

8月12日発表 米国農務省	【14/15年産】 作付面積90.6百万 (前月90.6百万) エーカー、単収171.0 (171.0) bu/エーカー、生産量142億1,600万 (142億1,600万) bu、総需要量137億500万 (136億9,600万) bu、期末在庫17億7,200万 (17億7,900万) bu、在庫率12.9 (13.0)%								
トウモロコシ 需給予想	【15/16年産】 作付面積88.9百万(前月88.9百万) エーカー、単収168.8(166.8) bu/エーカー、生産量136億8,600万(135億3,000万) bu、総需要量137億3,500万(137億6,000万) bu、期末在庫17億1,300万(15億9,900万) bu、在庫率12.4(11.6)%								
トウモロコシ相場動向	先月の発表以降、これまでの多雨から天候回復の予報を受け、市場は6月末の急騰以前の水準まで下落した。発表前日に天候回復の予報が引き続き出されたため売りが加速し、発表前日は376-1/2¢(9月限)で取引を終えている。今後のシカゴ相場は、生育に重要な受粉期も順調に終わり、15/16年産は前年対比で生産量減となるものの、歴代上位の生産量になると見込まれている。このため、相場は横這いで推移していくと見られるが、米国民間会社の作柄調査結果報告や輸出成約高により動く可能性もある。								
8月12日発表 米国農務省 大豆需給予想	【15/16年産】 前月対比で供給面では単収増加による生産量増加で上方修正し、需給面では輸出の減少から下方修正された。発表内容は期末在庫が市場の見込みを大きく上回る内容であったため売られ、前日比63¢安の951¢(8月限)で当日の取引を終えている。期末在庫4億7,000万(4億2,500万)bu、在庫率12.6(11.4)%								
大豆粕相場動向	国内産大豆粕相場は、大豆-菜種対比で搾油採算が良好であることから、発生量は前年対比約110%で推移しているが、シカゴ相場の天候不順、洪水 懸念を受けた高騰、為替の円安を受け、相場は強含みで推移している。シカゴ大豆相場は、前年対比で作付面積が増加するなど豊作への期待が高って いたが、上記理由の懸念から強含みの展開となった。7月以降も降雨が継続するとの予報から収穫面積の減少が指摘されており、注意が必要となる。								
糟糠類	【一般フスマ】夏場になり小麦粉は不需要期を迎え、挽砕量が減少し、フスマの発生量も減少しているが、飼料配合率は約4%と高めを維持して推移しており、秋□には需給は引き締まることが予想され、価格も強含むものと思われる。【グルテンフィード】異性化糖需要が低調に推移していることから、4-6月期の発生量は前年対比約96%にとどまっていたが、7月以降に気温が上昇したことから、発生量は前年並みになりつつある。しかし余剰分はなく、需給は引き締まることが予想される。主な輸入先である中国では、先行きのタイト感から相場は上昇している。								
海上運賃	原油価格は下落し、中国の石炭輸入量は鈍化しているものの、海上運賃はブラジルの鉄鉱石輸出増加と豊作による 穀物輸出の活発化を受け、大西洋海域での需給が逼迫し、堅調に推移している。また余剰感のあった船腹の解体量 も増加しており、今後も堅調に推移していくと思われる。								





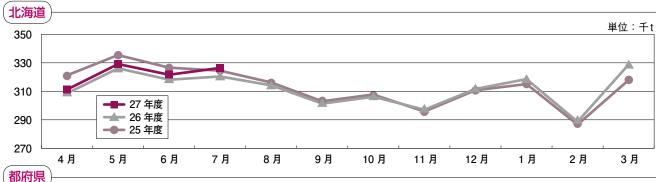
## 

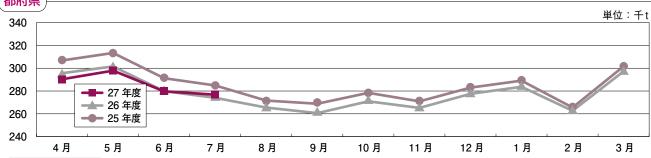
北米コンテナ船フレート	海上運賃は先月に引き続き、北米西海岸からの貨物量の減少に伴い下降傾向にある。各船社、貨物量が回復する秋口までは貨物の確保をしたいため、7月から多くの船会社が運賃値下げを行っている。とはいえ、価格は既に底値に達しており、船会社らは採算が取れておらず、今後値上げする可能性は高いとの見方である。一方で、米国の港は近年、コンテナ船の大型化に対しターミナルの作業量が追い付いておらず、慢性的な混雑が発生している。米国内の貨物量が急増する秋から冬にかけ、ターミナルの混雑は今以上に深刻化する可能性があると指摘されており、より一層の注意が必要となっている。
	【米国産】作付前後は天候に恵まれない時期が続いていたが、その後回復し順調に生育が進んでいる。
ビートパルプ	【中国産】中国国内では酪農業の発展によりビートパルプの需要が高まっており、輸出余力のない状況が続いている。 現在、中国はビートパルプの輸入は認められていないが、輸出国らが中国政府に輸入を許可するよう働きかけており、 将来的には中国への輸入が解禁されるであろうとの見方が強い。
	【ワシントン州】例年より2~3週間早いスケジュールで刈取りが進んでおり、今後も高温が見込まれることから今年は4番刈りまで収穫が可能と見込まれている。品質については、今年の1番刈りは既報のとおり出来は良くないために2番刈りの生産が期待されたが、7月上旬に40℃を超える日が続くなど高温乾燥の気候で推移したため、週乾燥気味の品質のものが多くなっており、高成分のものは限定される。
アルファルファ	【オレゴン産】1番刈り開始後に局地的な降雨が数回あったが、その後の天候は順調に推移したためほぼ適期に収穫されている。品質の特徴としては、春先の冷涼な気候や朝夕の寒暖差が大きかったことにより、ブラウンステムが例年よりやや多くなっているが、成分的には問題なく仕上がっている。
	【ネバタ、ユタ産】両産地ともに、約30%程度の雨当たりとなっている。今年の1番刈りシーズンは夜露が下りず過乾燥気味になるものが多くあり、成分は高いものの、葉付きが良くないものも見受けられる。
	【カリフォルニア産】5月、6月に続き、7月にも季節外れの降雨があり、一部雨当たり品も発生している。連日40℃を超える猛暑日が続いており、輸入に適した品質のものはとても限られている。中国の買付は依然として活発であり、ここにきて日本向けの品質と重なる部分が多くなってきている事から、今後の動向に注意が必要である。
	【米国産】刈取り時期は適期だったものの、生育期〜刈取り前の降雨による倒伏や茶葉の発生が散見され、順調だった 天候の割に良品が揃っている印象は少ない。産地価格は昨年比で大きく値を下げており、この価格下落が生産農家の 意欲をそいでおり、早くも来年の作付減につながるのではと懸念されている。
チモシー	【カナダ産】南部レスブリッジでは、7月に3回の降雨があり中間グレードが多くなってきているが、上級品の発生も一定量ある。作付面積・生産量ともに昨年並みと予想される。中部クレモナ地区では7月中旬から刈取りが開始されたが、開始直後から天候が不安定であり、刈遅れが懸念されている。また、旱魃の影響もあり、生産量も昨年より減少する見込みである。以上のことから、産地価格は引き合いが強いグレードを中心に強含みと予想される。
スーダン	7月に入り収穫が本格化し、1番刈りは大半を終えており、早播きの2番刈りが中盤を迎えている。(現時点で全体約80%を収穫済)主産地であるインペリアルバレーやその周辺地域では、5月、6月につづき、7月にも降雨があり品質に影響がみられ、良品の供給量は作柄が良かった昨年、一昨年に比べて非常に少ない状況である。しかし、日本側が旧穀在庫を例年以上に抱えている上に、他の輸出産地からの供給もあるため、日本向けの総数量が不足に陥る可能性は低いといえる。
クレイングラス	現在3番刈りが進行中で、作付面積は昨年より若干減少しているものの、供給量に問題はない。スーダングラスと同様に、降雨の影響を受けており、作柄が安定していた昨年に比べると品質はやや不安定なものに仕上がっている。産地価格は作柄が不安定なこと、日本・韓国の需要が底堅いことから、昨年並みからやや強含みで推移している。
ストロー類	産地では7月に若干の降雨があったものの、作柄へ大きく影響するものではなく、収穫は順調に進んでいる。今年は生育期に雨が少なかったため、収量は少なく茎は短めのものが多くなっている。
	【豪州全体】中国の豪州産オーツへイの需要はますます増加し、5月期の実績では15,000 tを超える出荷となり、初めて韓国向けの出荷量を超えた。北米産アルファルファと同様に、豪州においても中国からの需要動向は注視していく必要がある。豪州全域での15年産播種は終了している。
オーツヘイ	【西豪州】6月に入り乾燥した気候が続いていたが、7月下旬に降雨があり、土壌水分は問題ないレベルに回復している。オーツの作付面積は西豪州全体でみると増加しているが、増加分は「ヘイ」ではなく東南アジアへの強い需要を背景にした「麦」の生産が目的との見方があり、現時点ではオーツへイの生産は昨年比20%程度減少すると予想されている。
3 2 1	【南豪州】豪州気象庁の見通しでは、今後11月頃まで平年以下の降雨量が予想されており、単収の減少が懸念されている。また、降雨不足が続くと放牧草の生育不良となり、早い段階から国内向けの飼料確保が進んでおり、産地価格は強含みとされている。
	【東豪州】西·南豪州同様に、6月は乾燥した状態であったが、7月に入り何度か降雨があり土壌水分は回復している。作付面積は概ね昨年並みで生育も順調だが、エルニーニョの影響で降雨不足が予想される中、今後の天候が注目されている。

## 生乳受託販売乳量

## 受託販売乳量

全国 603,223t で、前年同月比 8,751t(1.5%) 増加 都府県 276,797t で、前年同月比 2,752t(1.0%) 増加 北海道 326,426t で、前年同月比 5,999t(1.9%) 増加

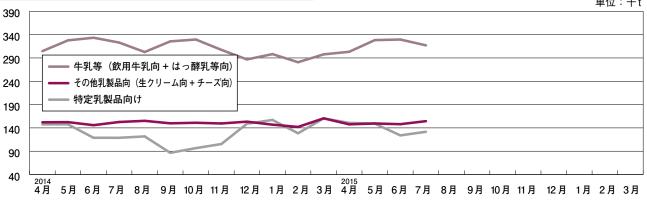




## 用途別販売数量

飲用向 276,904t で、前年同月比 3,137t(1.1%) 減少 はっ酵乳向 40,154t で、前年同月比 2,838t(6.6%) 減少 クリーム向 114.481t で、前年同月比 3.082t(2.8%) 増加

チーズ向 39,964t で、前年同月比 1,295t(3.1%) 減少 特定製品 131,717t で、前年同月比 12,939t(10.9%) 増加



単位:千t

## 各地の需給動向

【東北】7月生乳生産は前年比99.4%。処理は梅雨時期ではあるがはっ酵乳が堅調に推移している。飲用牛乳向けは99.7%、はっ酵乳 向けは 110.7%、特定乳製品向けは 93.1%。

【関東】生産量は 101.6%と好調維持。分娩のズレ込により直近の出産集中が影響していると思われる。処理は上旬雨が多く、気温も低 かったため伸びなかった。中旬から下旬にかけ、気温も上昇し回復した。 飲用牛乳向け処理量は前年比 103.6%、特定乳製品向けは 92.8%となった。

【東海】生産は前年比 99.0%。処理は梅雨の影響もあり、月間通して重めの推移となった。飲用牛乳向けは 97.1%、特定乳製品向けは 135.2%。

【近畿・中国・四国】生産は近畿 101.2%、中国 101.5%、四国 97.5%。処理は梅雨明け以降好天が続いたが伸びなかった。飲用牛乳 向けは近畿 101.2%、中国 99.7%、四国 96.5%。

【九州】生産は前年比103.6%と当初見込みを3ポイント上ブレした。域内の処理は月間通して雨天が続いた、生産量を上回る伸びはな かった。結果的には飲用牛乳向けは102.4%、特定乳製品向けは102.5%となった。

## 用途別生乳処理量

単位:千t

	用途別処理量計										用途別	処理量	 計								
	牛乳.							乳製品	製品向					牛乳.			乳製品向				
年月	生乳 生産 量				柱 定	その他	乳製品向	ij	年月	生乳 生産 量				性 完	その他	乳製品向	ij				
	里		牛乳等向 ①		特 定 乳製品向 ②		クリーム向 3	チーズ向 ④		里		牛乳等向 ①		特 定 乳製品向 ②		クリーム向 3	チーズ向 ④				
2014. 4月	627	622	319	303	148	155	112	43	2015. 4月	625	620	322	298	148	150	114	37				
5月	650	645	342	303	148	155	112	44	5月	649	644	347	297	151	146	109	37				
6月	619	614	345	269	120	149	108	41	6月	625	620	349	271	126	145	107	38				
7月	618	613	337	276	120	156	113	43	7月	629	624	338	286	133	153	110	43				
8月	600	595	317	278	126	153	111	42	8月												
9月	583	578	342	236	88	148	109	39	9月												
10月	598	593	346	247	100	148	112	36	10月												
11月	584	579	325	254	107	147	112	35	11月												
12月	613	608	306	302	151	152	111	40	12月												
2015.1月	624	619	314	304	158	146	105	41	2016. 1月												
2月	573	568	299	269	128	142	101	40	2月												
3月	642	637	319	319	159	160	117	43	3月												
年度計	7,331	7,271	3,910	3,361	1,552	1,810	1,324	486	年度計	2,527	2,509	1,357	1,152	557	595	440	155				

資料:農林水産省「牛乳乳製品統計」

単位:千t未満を四捨五入した数値を標記しているため、各項目の合計と表の合計とが合致しない場合がある

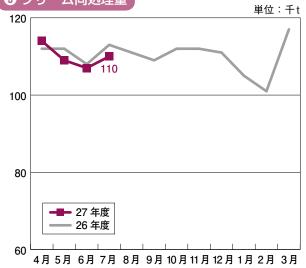
## 1 牛乳等向処理量



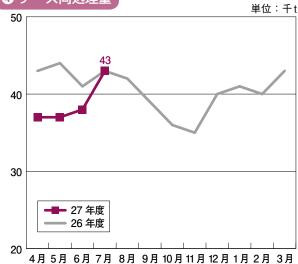
## ② 特定乳製品向処理量



## 3 クリ -ム向処理量



## 4 チー -ズ向処理量



## 特定乳製品(脱脂粉乳・バター)の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

単位:千t

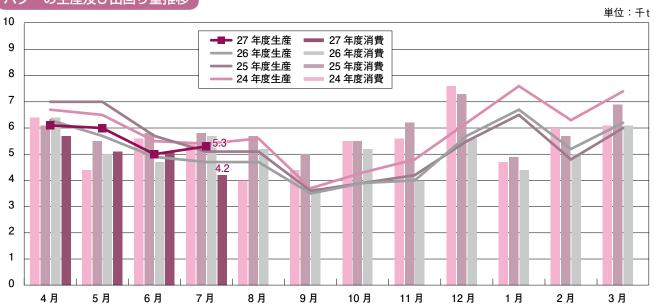
年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2014. 4月	11.4	11.8	6.3	6.4	2015. 4月	12.0	11.0	6.1	5.7
5月	10.9	11.0	5.7	5.0	5月	11.5	9.7	6.0	5.1
6月	8.9	9.5	4.9	4.7	6月	9.6	8.5	5.0	5.1
7月	8.8	11.0	4.7	5.7	7月	10.1	9.7	5.3	4.2
8月	9.1	11.0	4.7	5.2	8月				
9月	6.9	8.4	3.5	3.7	9月				
10月	7.4	10.6	3.9	5.2	10月				
11月	8.9	8.0	4.0	4.0	11月				
12月	13.1	10.0	5.7	5.6	12月				
2015. 1月	12.2	7.1	6.7	4.4	2016.1月				
2月	10.1	6.9	5.2	5.0	2月				
3月	13.1	9.2	6.2	6.1	3月				
年度計	120.8	114.5	61.5	61.0	年度計	43.2	38.9	22.5	20.1

資料:農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

## 脱脂粉乳の生産及び出回り量推移



## バターの生産及び出回り量推移

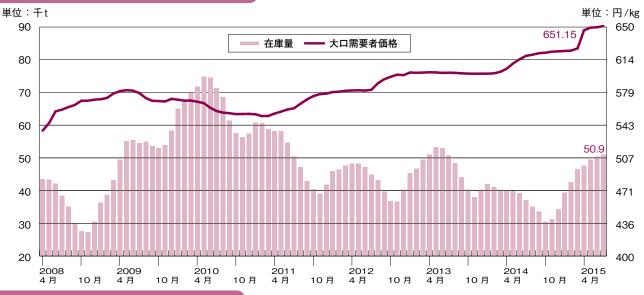


## 脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

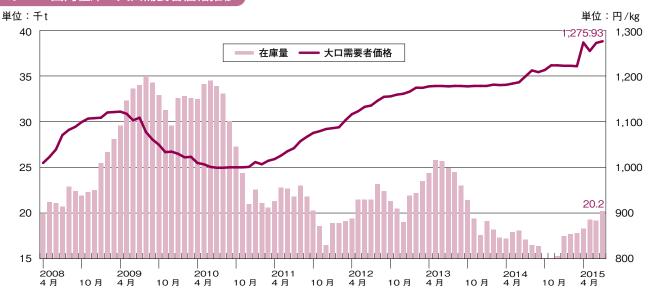
□ /\	バ	ター	脱脂	粉乳	- Γ <sub>2</sub> /\	バ	ター	脱脂粉乳		
区分	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格	区分	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格	
年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	
2014. 4月	17.2	1,181	39.9	604.56	2015. 4月	18.3	1,273	47.6	646.56	
5月	17.9	1,183	39.8	610.30	5月	19.3	1,255	49.4	649.41	
6月	18.1	1,186	39.2	614.85	6月	19.2	1,272	50.4	649.81	
7月	17.1	1,199	37.0	618.63	7月	20.2	1,276	50.9	651.15	
8月	16.5	1,212	35.1	619.85	8月					
9月	16.4	1,208	33.6	621.48	9月					
10月	15.1	1,213	30.4	622.00	10月					
11月	15.1	1,223	31.3	623.19	11月					
12月	15.3	1,223	34.3	623.52	12月					
2015.1月	17.5	1,222	39.4	623.93	2016.1月					
2月	17.7	1,222	42.6	624.30	2月					
3月	17.8	1,221	46.5	626.78	3月					
年度計	201.7	_	449.1	_	年度計	77.0	_	198.3	_	

資料:農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

## 国内在庫・大口需要者価格推移



## 国内在庫・大口需要者価格推移



## 飼料のNIR分析は

A Member of The World Wide Network of Dairy One

Dairy One のサテライトラボ

全酪連分析センターでは、粗飼料を中心に各種飼料について、Dairy One のNIRシステムを利用した NIR成分分析を実施しております。

z-bunseki@zenrakuren.or.jp ^ お申込み案内の請求やお問い合わせは →

## ▶NIR分析項目

以下の記載の他、NFC、TDN、NEL等の算出値及びミネラル値も報告いたします。

X 1 1 1 1 0 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			IL O TA	П - /С	00.,0
分析項目	粗飼料	穀類	稲WCS	TMR	副原料
DM(乾物率)	0	0	0	0	0
CP(粗蛋白質)	0	0	0	0	0
蛋白分画					
SP(溶解性たん白質=SIP)	0	0	0	0	0
RDP(ルーメン内分解性たん白質)	0	0	0		
ADICP(ADF結合たん白質)		0	0		
NDICP(NDF結合たん白質)	0	0	0		
繊維分画					
ADF	0	0	0	0	0
NDF	0	0	0	0	0
aNDFom	O*1				
リグニン	0	0	0	0	
粗脂肪(Fat)	0	0	0	0	0
粗灰分(Ash)	0	0	0	0	0
でんぷん	0	0	0	0	
WSC(可溶性糖)	0				
ESC(エタノール可溶性糖=単少糖類)	0				
アンモニアCPE(アンモニアをCPに換算した当量)	0				
乳酸・酢酸・酪酸及びVFAスコア	O**2				
NDF消化率(NDFD 24·30·48時間)	0				
uNDFom(30·120·240時間)	O*1				
kd 単位時間あたりの繊維消化率	0				
でんぷん消化率(7時間・4mm粉砕)	○*3	O*4			

## ▶NIR分析ができる主なサンプル

和智利

性即作	
<ul> <li>◆牧草サイレージ         (マメ科・イネ科・混播)</li> <li>◆乾草(マメ科・イネ科・混播)</li> <li>◆生草(マメ科・イネ科・混播)</li> <li>◆コーンサイレージ</li> <li>◆ソルガムサイレージ</li> <li>●稲ホールクロップサイレージ</li> </ul>	<ul><li>◆大麦</li><li>●ビール粕</li><li>●コーン</li><li>●えん麦</li><li>●小麦(ふすまを除く)</li><li>●マイロ</li></ul>
TMR	副原料
<ul><li>P搾乳牛用TMR</li><li>乾乳牛用TMR</li><li>肥育牛用TMR</li><li>配合飼料</li></ul>	<ul> <li>●ビートパルプ</li> <li>●大豆・大豆油粕・大豆皮</li> <li>●ナタネ油粕</li> <li>●パーム油粕・パーム核油粕</li> <li>●蒸留穀物粕(乾燥品のみ)</li> <li>●コーンジャームミール</li> <li>●コーングルテンフィード</li> </ul>

詳細はお問い合わせください

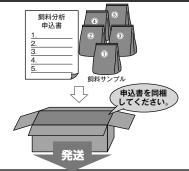


粗飼料は aNDFomとuNDFomが できるようになりました。 ※生草を除く。

- ※2 サイレージのみ可(コーンサイレージは乳酸・酢酸・VFAスコア) VFAスコアは乳酸発酵の評価値
- ※3 コーンサイレージのみ可 ※4 コーンのみ可

NIR分析項目や分析可能サンプルの更新情報は、全酪連ホームページにて随時発信しております。

## ▶サンプルの送付方法



送付いただくサンプルの量は以下の重量を超えないようにご注意ください。

分類	サンプルの種類	重量	体積 (袋の大きさの目安)
高水分サンプル	生草 牧草サイレージ コーンサイレージ	500g	A4
中水分サンプル	TMRなど	300g	A4
低水分サンプル	乾草・ヘイレージ	100g	A4
区水分りンプル	コアサンプル・粉砕サンプル	TOOS	A5
穀類·副原料	とうもろこし、大豆など	200g	A6

送付先・お問い合わせ先

全国酪農業協同組合連合会(全酪連) 購買部 分析センター

〒314-0103 茨城県神栖市東深芝 2-14 TEL: 0299-90-1007 FAX: 0299-93-5007

## 那华崖地情報

## 平成27年9月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765 釧路事務所 TEL 0154-52-1232 帯広事務所 TEL 0155-37-6051 道北事務所 TEL 01654-2-2368

**価格状況 ★……**強含み ╃……やや強含み ➡……横這い ★……やや弱含み ╄ ……弱含み

事	務	所	畜	i #	<b>重</b>	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況				
			育成牛(	(10-1	2月令)	27~32	•	札幌管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計98.4%、累計で98.7%、苫小牧 管内月計で99.8%、累計で100.2%の実績となっている。				
札	,幌管	內	初	妊	牛	50~58	<b>—</b>	9月は11月~12月分娩中心となり、F1腹中心の取引となり、道内需要も多くあり、引き合いはより多くなるものと思われる。8月時点での繁殖状況は例年よりも良く、暑さによる発情				
			経	産	牛	43~48	<b>→</b>	の遅れ等は特に無いとのことで、9月以降は販売に出てくる牛が増える見込みであるが、需給がひっ迫しているため荷動きは早くなるものと思われる。				
			育成牛(	(10-1	2月令)	35~40	<b>7</b>	根釧管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.9%、累計で101.0%、中標津管内月計で100.5%、累計で100.1%の実績となっている。				
釗	路管	內	初	妊	牛	55~60	1	9月の初妊牛動向は、11月~12月分娩中心となり、F1腹中心の取引となるが、雌雄選別腹の導入希望が増えてきており、需給がひっ迫することが予想される。現在は牛の質により価				
			経	産	牛	45~50	•	格差がついている状態だが、今後都府県の需要期となり、地元の導入頭数も多い事から相場 は強くなると予想される。				
			育成牛(	(10-1	2月令)	28~34	•	が広管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.7%、累計で104.1%の に績となっている。				
帯	帯広管内	內	初	妊	牛	55~60	1	9月の初妊牛動向は、11月~12月中心の取引となり、F1腹がメインとなる予定。9月より 十勝ホクレン市場の開催が月2回となり、都府県の需要もますます多くなる事から、荷動きが				
			経	産	牛	45~50	•	早くなるものと予想される。近腹になるほど引き合いは強くなり価格は高くなりますので、市場で取引される分娩月よりも半月先の分娩月のご注文をお願いします。				
			育成牛(	(10-1	2月令)	30~35	•	道北管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.3%、累計で100.9%、北見管内月計で101.1%、累計で100.4%の実績となっている。				
道	北管	內	初	妊	牛	52~58	•	9月の初妊牛動向は、11月~12月分娩中心となりF1腹の需要が多い状況に変わりありません。8月の需要動向を見ると都府県需要が徐々に増加傾向にあり、また道内大型牧場は常に				
			経	産	牛	45~50	<b>→</b>	購入しており、価格は上昇傾向にある。今後11月以降の都府県需要が多くなるにつれて、今年は乳の良し悪しに関係なく高値で推移することが予想される。				
	道内総括		育成牛(	(10-1	2月令)	28~35	•	道内の8月中旬までの生乳生産量前年比は101.8%、累計で101.3%の実績となっている。 9月の初妊牛動向は、11月分娩以降の取引が中心となる。盆明けの8月の取引より相場が強く、				
道		総括	初	妊	牛	53~58	•	道内外共に引合いがあり、今後9月以降の取引についても強含みの傾向が予想される。府県側としては後継牛確保の為、雌雄選別精液腹の注文も多くなると予想され、F1腹、選別腹の需				
		経	産	<b>#</b>	45~50	<b>→</b>	要は益々多くなると思われる。また資源確保の為、年内に動く3月上旬腹までは早めに荷動きすると予想される事から、出来る限り早めの購買予定を計画されますよう、お願いいたします。					

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

## 月の表紙

## 蔵王連峰と牧草の収穫

今月の表紙は、「第6回酪農いきいきフォトコンテスト」 (第44回全国発表大会にて開催)で入選に輝いた作品「蔵 王連峰と牧草の収穫」(宮城県 阿部 由紀子氏 撮影)です。

雄大な蔵王連峰を背景に清々 しい空気のなか、一段と収穫 作業が進みます。爽やかな印 象を受ける一枚です。



りますので、 shidoukikaku@zenrakuren.or.jp メールをいただければ幸いです。 気をつけてお過ごしください。 不安定な季節が続いており があれば、 会報に関するご意見・ご要望 収穫作業の真っただ中であっ安定な季節が続いておりま 体調管理には十 以下のアドレスに



平成27年9月10日発行(毎月1回10日発行)

## ZENRAKUREN **MEMBER'S INFORMATION**

全酪連会報 9月号 No.600

- ●編集·発行人 大森 一幸
- ●発行 全国酪農業協同組合連合会 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号 TEL 03-5931-8003 http://www.zenrakuren.or.jp/



人 倉吉市立山守小学校(西日本)3年 小谷まこ

ラ 月の入賞作品は、倉吉市立山守小学校(西日本)3年の 小谷まこさんの作品です。

独特な色彩感覚で自分のイメージを表現した作品です。題名の「ゆめみるうし」もたいへん詩的で観る者を絵画の世界へ誘い魅了します。水彩絵具と水の分量を調整してにじみをつくり、幻想的な画面を作り上げています。細部には色鉛筆を使って描写している箇所もあり、表現に工夫がみられセンスの良さを感じます。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第42回らくのうこどもギャラリー」で 全国588点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。



主催 全国酪農青年女性会議